事業所　グループホーム津田沼

目標達成計画

作成日：令和 5年 5月 20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	家族全員に運営推進会議の開催を通知して意見をもらい、意見を検討して議事録としてフィードバッグするなど、運営推進会議の周知に努めることを期待する。	家族会代表以外の家族に、運営推進会議を周知し、会議に対するご意見が頂けるよう努め、運営推進会議の意義を高める。	改めて、運営推進会議の説明とこの６月に開催予定の会議の議事録を送付、その際に、ご意見を記入できる「ご意見用紙」を同封して、ご意見が頂けるかどうか試みる。頂いたご意見は会議の中で評価し、議事録に明記する。それを繰り返す事で運営推進会議が周知される事になると思う。	6ヶ月
2	35	備蓄としては水はあるが、ローリングストックで食料なども検討することもよいと思われる。また、BCPを視野に入れ、感染症を含め、さまざまな災害を想定しておくことも必要と思われる。	現状把握を行い、食料は法人と相談しながら備蓄を整えていく。	ホーム内に現状ある食料や飲料と合わせて、今後倉庫などに高齢者が食べられる食材や、飲料確保を行っていく。	2ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月